

エコアクション21

環境経営レポート

第12号

運用期間（2024年2月1日～2025年1月31日）



2025年2月20日 発行

株式会社 アグ子塗装

目 次

1頁	環境経営方針
2頁	1.事業所の概要
	2. 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
3頁	3. 実施体制
4頁	4. 環境負荷の実績と環境目標
5頁	5. 環境活動計画の実施状況の評価
6頁	6. 環境目標の実績評価と今後の活動
7頁	6. 環境目標の実績評価と今後の活動
8頁	7. 環境関連法規への違反、訴訟の有無
	8. 代表者による全体評価と見直し

環境経営方針

〔基本理念〕

私たちは、事業を通して、地域環境の景観美化を図り、「美しい住景観を創る」を
もとに、社員一人一人が環境保全を意識し、会社・現場での活動を通し、地域景観
を改善し、とそうによる建物の長寿命化により美しい景観を次世代に引き継ぐことを
目指し環境保全に配慮し、且つ、環境経営の継続的改善を誓約する。

〔基本方針〕

環境保全活動を推進するにあたり、以下に主な活動項目を掲げ取組みます。

1. 当初の主力事業である塗装工事業を通じて環境に与える影響を低減すると
ともに、循環型社会の実現に努めます。
 - ① 省エネルギー活動として、電気使用量の削減に努めます。
 - ② 省資源活動として、燃料、水の使用量の削減に努めます。
 - ③ 上記①、②等によりCO2排出量の削減を行う
 - ④ 廃棄物の削減に努めます。
 - ⑤ 地球環境に配慮した塗料の推進・施工に努めると共に顧客に提案
していきます。
 - ⑥ 車両関係・使用機器関係のエコカー・防音型系への移行推進。
 - ⑦ シンナー類の使用量削減に努めます。
 - ⑧ 施工現場等において、5S運動及びKY活動を推進します。
 - ⑨ 現場状況に応じて、塗装・塗料を工夫し使用量削減に努め環境に貢献します。
2. 事業活動に関する環境法規類及びその他の要求事項を遵守します。
3. 環境方針は、全社員に周知するとともに環境教育を行い、社員の環境に関する
意識の向上を図ります。

2012年11月26日制定

2021年4月7日改定

株式会社 アダチ塗装
足立 恒二

1. 事業所の概要

(1) 事業所名

株式会社 アダチ塗装
代表取締役 足立 恒二

(2) 所在地

本社 : 熊本県熊本市中央区国府本町1番8号

(3) 事業内容

塗装工事業、防水工事業、リフォーム工事業

建設業の許可
熊本県知事 般24-2793号

(4) 事業の規模

項目	単位	2023年度	2024年度
売上高	百万円	199百万円	211百万円
資本金	万円	10百万	10百万
社員数	人	9人	8人

昭和24年3月1日 創立
昭和40年2月1日 有限会社足立塗装店 開設
平成14年6月11日 株式会社アダチ塗装 移行

(5) 会計年度

期首 : 2月 期末 : 1月

(6) 認証登録範囲 (対象とする組織及び活動)

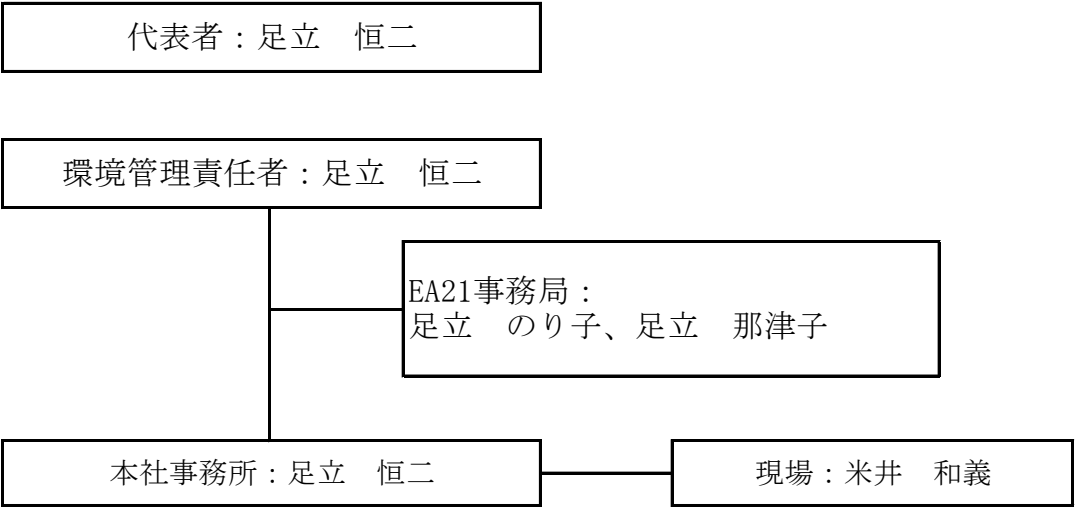
株式会社アダチ塗装における全組織、全活動を対象とする。
(上記 (1)、(2)、(3) に記載)

2. 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 足立 恒二
担当者連絡名 足立 のり子・足立 那津子
電話 096-364-6869 FAX 096-364-6842

3. 実施体制

1) 環境組織



2) 責任と権限

代表者	①環境経営の最高責任者
	②環境方針の制定、環境目標及び環境活動の承認
	③環境経営システムの評価、全般的な見直し
	④EA21を運用し、維持するための経営資源を用意する
環境管理責任者	①環境経営システム全体の構築・運営の責任者
	②環境目標、環境活動及び環境活動計画の確認、指示
	③各部門の環境活動の指示及びフォロー
	④教育と訓練の総括
	⑤環境経営システム実績等の評価及び代表者への報告
EA21事務局	①環境管理責任者の代行及び環境活動の全社的な推進
	②環境負荷の取りまとめ
	③環境文書発行・管理の実務
	④その他、EA21事務全般
社員 (各部門)	①環境方針、目標の理解
	②環境活動の理解と実施
	③環境法規制の遵守
	④緊急事態の予防策、対応策の実施
	⑤内部コミュニケーションの実施
	⑥改善の為の提案

4. 環境負荷の**実績**と環境目標

1)環境負荷の実績

項目	2024年度の環境負荷の把握状況
二酸化炭素排出量	25177.85kg-CO2
CO2排出量 (内訳)	電気排出量(5,164kWh/1,544kg-CO2) ガソリン使用量(7,701L/17,867kg-CO2) 軽油使用量(1,870L/4,824kg-CO2) 灯油使用量(378L/941.22kg-CO2)
廃棄物排出	産業廃棄物:廃プラ:1.2t ケレン屑: t 廃金属:t
水使用量	75m ³
シンナー類使用量	3,168L

(注記):電気のCO2排出係数は2023年度九州電力排出係数0.299を使用

2)環境目標(中長期目標)

項目	環境目標			
	基準値	2024年度	2025年度	2026年度
電気使用量	2020-2023年平均値 5347.25 kWh	平均値比1%削減 5293.78 kWh	平均値比2%削減 5240.31 kWh	平均値比3%削減 5186.83 kWh
ガソリン使用量	2020-2023年平均値 8872.15 L	平均値比1%削減 8783.43 L	平均値比2%削減 8694.71 L	平均値比3%削減 8605.99 L
ガソリン燃費	2020-2023年平均値 14.68 L	平均値比少しでも向上 14.8262 L	平均値比少しでも向上 14.8996 L	平均値比少しでも向上 14.973 L
軽油使用量	2020-2023年平均値 2849.13 L	平均値比1%削減 2820.64 L	平均値比2%削減 2792.15 L	平均値比3%削減 2763.66 L
軽油燃費	2020-2023年平均値 9.63 L	平均値比少しでも向上 9.72714 L	平均値比少しでも向上 9.7753 L	平均値比少しでも向上 9.82345 L
灯油使用量	2020-2023年平均値 413.5 L	平均値比1%削減 409.365 L	平均値比2%削減 405.23 L	平均値比3%削減 401.095 L
CO2排出量	2020-2023年平均値 30,941 kg-CO2	平均値比1%削減 30631.6 kg-CO2	平均値比2%削減 30322.2 kg-CO2	平均値比3%削減 30012.8 kg-CO2
廃棄物の分別の徹底	分別の徹底 分別状況の確認 1回/週	分別の徹底 分別状況の確認 1回/週	分別の徹底 分別状況の確認 1回/週	分別の徹底 分別状況の確認 1回/週
水使用量	2020-2023年平均値 108.25 m ³	平均値比少しでも向上 107.168 m ³	平均値比少しでも向上 106.085 m ³	平均値比少しでも向上 105.003 m ³
エコカー・低燃費機器導入	車両・使用機器をエコカー・低燃費機器への推進	車両・使用機器をエコカー・低燃費機器への推進	車両・使用機器をエコカー・低燃費機器への推進	車両・使用機器をエコカー・低燃費機器への推進
シンナー類の使用量削減	2020-2023年平均値 1044.50 L	平均値比少しでも向上 1034.06 L	平均値比少しでも向上 1023.61 L	平均値比少しでも向上 1013.17 L
顧客への環境啓発	遮熱塗料等の環境塗料の使用 工事率30%	遮熱塗料等の環境塗料の使用 工事件数32%	遮熱塗料等の環境塗料の使用 工事件数34%	遮熱塗料等の環境塗料の使用 工事件数36%

(注記)

- ①水は事務所で、トイレや給湯程度の使用であるため、節水意識を高め、推進していく事を目標とする
- ②工事関係では、当社が現場で守るべき環境活動を実施していく事を目標とする。
- ③環境目標は、地震の影響で前年度比ではなく、前々年度実績比を目標とする。

5. 環境活動計画の実施状況の評価

運用期間: 2024年2月～2025年1月

項目	推進責任者	具体的な活動	事務所	工事
電気 使用量	足立 恒二 足立 のり子	使用しない照明の消灯(毎日)	○	—
		使用時以外のトイレ、資材倉庫の消灯(毎日)	○	—
		体感による適切な温度設定の推進	△	—
		OA機器の退社時の電源OFF(毎日) * 複合機・HD除く	○	—
		空調機フィルターの定期的な清掃6月,11月	△	—
ガソリン 軽油 使用量	米井 和義	アイドリングストップの推進(毎日)	○	△
		経済運転の推進(急停車・発進の禁止)	○	△
		車両点検の実施(適宜)	○	○
		不要な荷物を積まない	○	△
灯油 使用量	足立 恒二 足立 のり子	ウォームビズの推進(冬場)	△	—
		不要な時の灯油使用量削減(冬場)	△	—
廃棄物リ サイクル 化推進 (一般、産 業廃棄 物)	足立 のり子	裏紙使用の推進(毎日)	○	—
		ゴミの分別の徹底(毎日)	○	○
	米井 和義	産業廃棄物の分別の徹底(適時)	—	○
		リサイクル、再資源化の推進	—	○
		産業廃棄物置場の適正な管理(毎日)	—	○
水使用	足立 恒二	節水の推進	○	—
		節水ステッカーによる目で見える周知	○	—
		水系への環境負荷物質の漏洩防止	○	—
エコカー・ 低燃費機 器の導入	足立 恒二 足立 のり子	車両購入時はエコカーの導入	—	○
		使用機器製品購入の環境型への推進	—	○
シンナー 類の使用 量削減	足立 恒二	シンナー使用量の削減徹底	—	○
		仕様塗料の水性化への移行推進	—	○
		使用量の管理	—	○
顧客への 環境啓発	足立 恒二	環境配慮製品(遮熱等)の施工	○	—
		顧客への環境配慮塗料の提案	○	—

※評価基準: ○:できた △:改善の余地あり ×:実施できなかった —:対象外

6. 環境目標の実績評価と今後の活動

運用期間: 2024年2月～2025年1月

項目	基準値	目標値	実績	達成度
電気使用量	5347.25 kWh	5293.778 kWh	5,164 kWh	103%
(CO2排出量)	1978.483 kg-CO2	1958.698 kg-CO2	1,544.04 kg-CO2	—
(評価と今後の取組内容) 今年度は、前年度に引き続き会社自体の運営時間を省力化し、事務所の使用時間帯を減少する努力をし、使用量の減少に繋がったと考える。また、来年度も継続化していきたい				
項目	基準値	目標値	実績	達成度
ガソリン使用量	8872.153 L	8783.432 L	7,702 L	114%
(CO2排出量)	20,583 kg-CO2	20,378 kg-CO2	17,868 kg-CO2	—
ガソリン燃費	14.7 km/L	14.8 km/L	11.4 km/L	77%
(評価と今後の取組内容) 今年度は、全体的に遠方が現象した事と、乗り合わせも増加した事により使用量削減になった。燃費は、遠方が無くなった分少し悪くなったため、積載量等の減少を取り組んでいき燃費向上に努める				
項目	基準値	目標値	実績	達成度
軽油使用量	2849.13 L	2820.639 L	1870.09 L	151%
(CO2排出量)	7,351 kg-CO2	7,277 kg-CO2	4,825 kg-CO2	—
軽油燃費	9.6 km/L	9.7 km/L	9.9 km/L	102%
(評価と今後の取組内容) 今年度は、全体的に遠方が現象した事と、乗り合わせも増加した事により使用量削減になった。燃費は、ほぼ横這いであり引き続き省力運転に努める				
項目	基準値	目標値	実績	達成度
灯油使用量	413.5 L	409.365 L	378 L	108%
(CO2排出量)	1,030 kg-CO2	1,019 kg-CO2	941 kg-CO2	—
(評価と今後の取組内容) 灯油使用量は、今年度は電気同様、営業を省力化する努力をしていることが身になってきたと感じる。来年度も、積極的に取り組んでいきたい				

項目	基準値	目標値	実績	達成度
CO2排出量	30941 kg-CO2	30631.59 kg-CO2	25,178 kg-CO2	122%
(評価と今後の取組内容) CO ₂ 排出量は、目標に達成になったが、化石燃料の使用量の減のためと考える。工事場所により使用量も増減するため、できる限りエコドライブを心掛け、燃費向上をさせ、化石燃料の使用量削減に努める。化石燃料以外は、できる限り省エネ・業務時間・有給等の利用等を見直し改善し、省力化向上を目指したい				
項目	基準値	目標値	実績	達成度
廃棄物の分別の徹底	—	分別の徹底 分別状況確認 1回/週	分別が徹底できた。 週1回の確認ができた。	100%
(評価と今後の取組内容) 廃棄物は可燃物、廃プラ、不燃物で、分別は実施できた。週1回の確認もできた。裏紙の使用による紙使用量削減も推進できた。工事現場での、ゴミの分別において徹底が必要。使用時毎に整理整頓を行いゴミの分別を推進していく。環境目標は達成できたと判断する。今後も、引き続き分別活動を推進していく。				
項目	基準値	目標値	実績	達成度
水使用量	—	前年度同様の使用量に努める	節水活動の実施ができた。	100%
(評価と今後の取組内容) 水の使用量は、毎年使用量が変わらないため目標通りにいけるよう、従業員と節水工夫を考える必要がある				
項目	基準値	目標値	実績	達成度
エコカー・低燃費機器の導入	—	車両・使用機器買替をエコカー・低燃費機器への推進	購入時期ではないので、現状維持	—%
(評価と今後の取組内容) 現状では、購入時期ではないため、使用できるものの現状把握及び改善箇所は改善するよう努める。				
項目	基準値	目標値	実績	達成度
シンナー使用量	1044.5 L	1034.055 L	2924 L	35%
(評価と今後の取組内容) 使用量は、特異的工事の増加により大幅増になっているが、それ以外で考えると水性仕様への提案等により減少させていると考える。今後も特異的な工事以外は、積極的に使用塗料を水性へ移行させるよう努力する。				
項目	基準値	目標値	実績	達成度
顧客への啓発	30%	32%	60%	53%
(評価と今後の取組内容) 工事件数(新築工事・公共関係等は除く)に対しての目標値は達成できたと思う。引き続き顧客に対して使用目的の提案に努め、使用量の拡大に努めたい。そのためにも、顧客とのコミュニケーションは大切な業務であり、商品の提案とセットで実施していく。				

7. 環境関連法規への違反、訴訟の有無

遵守評価は環境法規制登録表で実施しています。 遵守評価日:2024年2月4日

法規制等	適用内容	対象設備、施設	遵守事項（法規制/自主規制）	頻度等	記録	遵守評価	コメント
廃棄物処理法 （産業廃棄物）	産業廃棄物の保管	産業廃棄物置場	表示板の設置	設置時	（表示板）	○	
			清掃、漏洩防止	1回/週（確認）	—	—	
工事現場	委託契約書	委託業者	委託契約書（書面）	契約時	委託契約書	○	
	マニフェスト伝票管理	委託業者	マニフェストの発行、管理	処理委託時	マニフェスト伝票	○	
			各票の受領確認	発行後	マニフェスト伝票	○	
	産業廃棄物管理票交付等 状況報告	産業廃棄物	マニフェスト伝票の集計 マニフェスト伝票の報告	発生時のみ 発生時のみ	産業廃棄物管理票交付等 産業廃棄物管理票交付等状況報告書	○ ○	
廃棄物処理法 （事業系一般廃棄物）	産業廃棄物の保管	産業廃棄物置場	清掃、漏洩防止	1回/週（確認）	—	○	
			再資源化、リサイクルの推進	随時	—		
事務所							
消防法	指定数量の1/5以上は貯蔵所の 届出、管理が必要		指定数量の1/5の量	毎日（使用時）	—	○	管理できている
		第4類第1石油類	200ℓ（一斗缶換算：11缶）	毎日（使用時）	—	○	管理できている
		第4類第2石油類	1000ℓ（一斗缶換算：62缶）	毎日（使用時）	—	○	管理できている

評価者 足立 恒二

対象法規類

1. 廃棄物処理法
2. 自動車リサイクル法
3. 家電リサイクル法
4. PCリサイクル法
5. 消防法
6. 水質汚濁防止法

遵守評価の結果、環境関連法規への違反はありません。
なお、訴訟や関係当局から指摘や行政指導は、過去3年間ありません。

8. 代表者による全体評価と見直し

今年度は、業務的には非常に良い内容だったと思う。特異的な物件が多かったためシンナー使用量が、大幅に増加しているが仕方ない部分であるためであり、それ以外は減少傾向にあると思うため、来季はコスト削減等を踏まえて見直す年にしていきたい。また、受注内容も改善の余地はあると思うので、色々と試行錯誤したいと思います。環境経営方針・環境経営目標及び環境経営計画・実施体制においては、見直し実施したが、変更等はなく継続していく。

2025年2月20日
代表取締役 足立 恒二